

TOTO

リモデル便器

BM

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

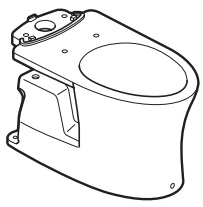
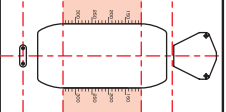
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	 必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--

 注意	
 禁止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

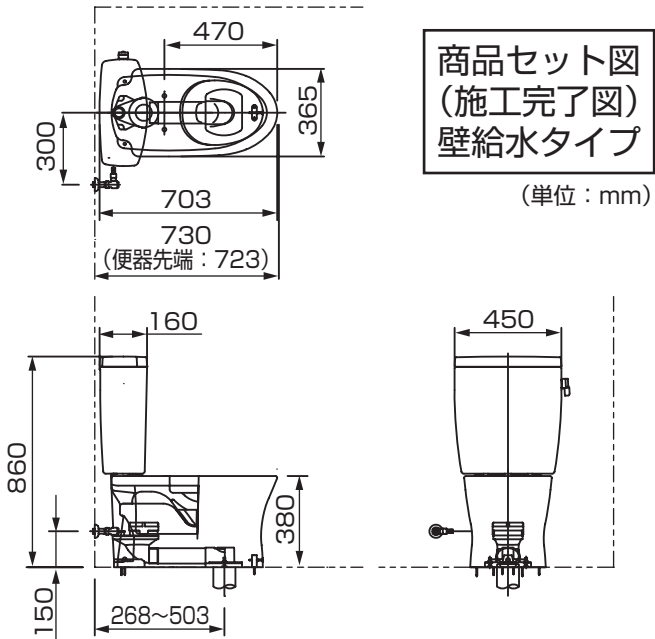
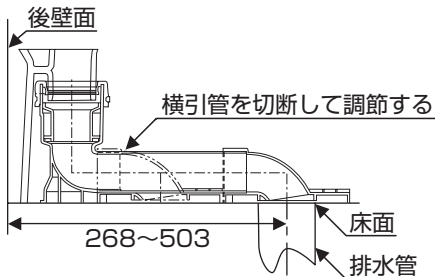
便器本体	排水アジャスター	固定金具類
 (1個)	 便器接続部 (1個) ※ゴムジョイント付き  横引管 (1個)	 固定片 (1個)  Tボルト (2本)  木ねじ (固定片用) ($\phi 6 \times 50$: 2本)  ワッシャー (固定片用) (2枚)  木ねじ (便器接続部用) ($\phi 6 \times 60$: 2本)
Pシール	化粧キャップ類	その他
 金属フランジ用 (1個)  樹脂フランジ用 (1個)	 化粧キャップ (前固定用) (1個)  化粧キャップ (後固定用) (2個)  皿木ねじ (前固定用) ($\phi 5.8 \times 56$: 1本)  木ねじ (後固定用) ($\phi 6.2 \times 63$: 2本)  ワッシャー (後固定用) (2枚)	 本紙 施工説明書 (1部)  位置決めシート (1部)

取り付け前のご注意

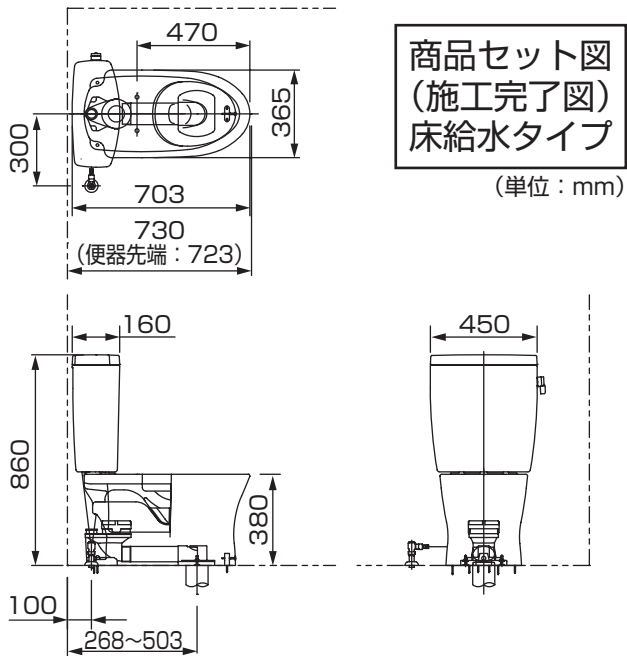
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 商品への通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 給水ホースの接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水圧力は最低必要水压(流動時)：0.05MPa、最高水压(静止時)：0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 給水ホース、止水栓は別売品です。別途、現場手配してください。

■排水心の確認

- 排水心268～503mmの場合
横引管を排水心に合わせて切断し、
塩ビ接着剤で確実に接続してください。
※排水心268mmの場合、横引管は不要です。



商品セット図
(施工完了図)
壁給水タイプ
(単位：mm)



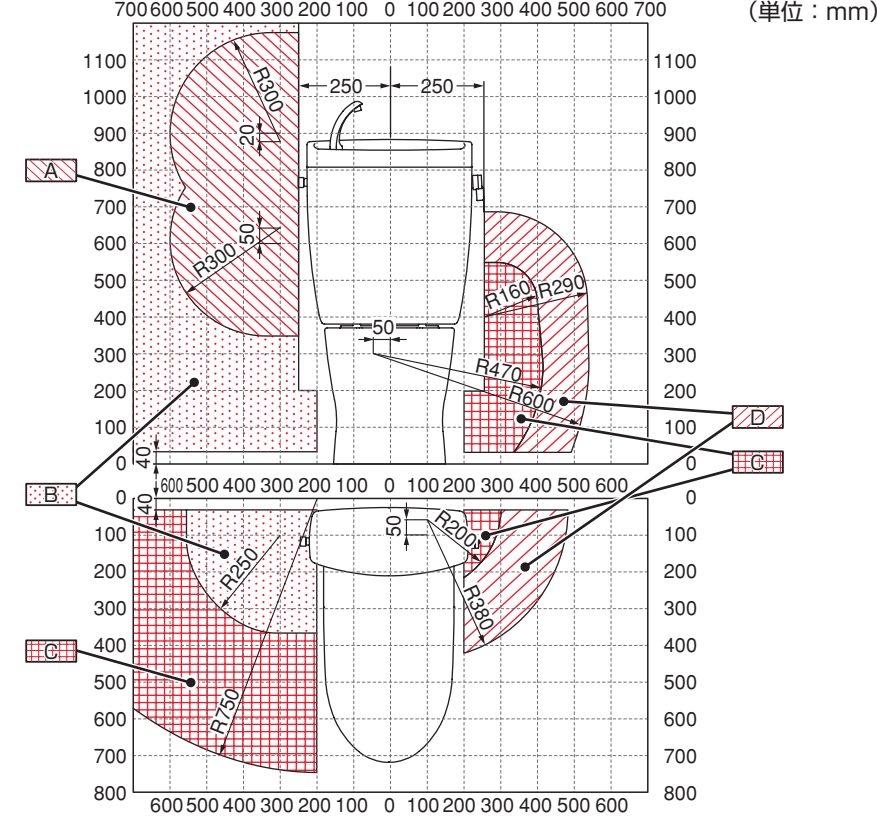
商品セット図
(施工完了図)
床給水タイプ
(単位：mm)

給水位置の確認

1 止水栓取付範囲

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(下図参照)
A	HH05141	400mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	HH05140	800mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	HH05140にTN98L2X20(ニップル付き)を接続	1000mm(800+200)	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	HH05140にTN98L2X30(ニップル付き)を接続	1100mm(800+300)	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲

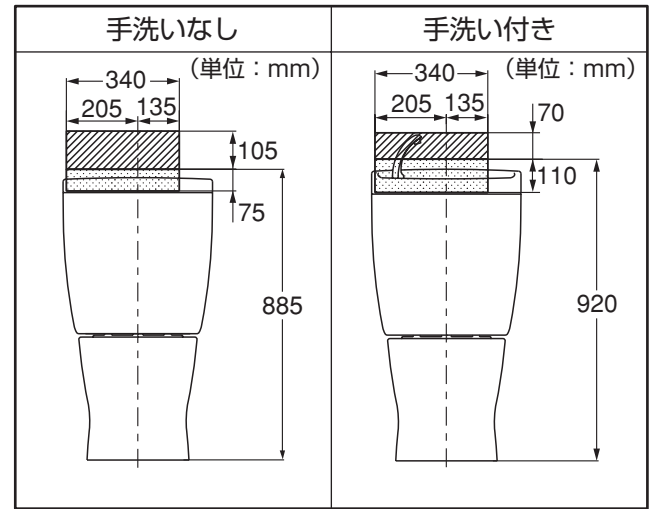
※TN98L2X20(200mm)、TN98L2X30(300mm)



⚠注意

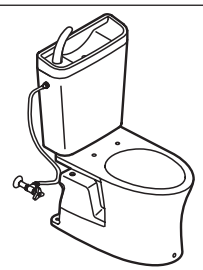
❗ 止水栓は横壁面・床面から40mm以上離して取り付ける
すき間が小さいとメンテナンスに必要な空間が確保でき
なくなります。

2 隅付タンクC21・C21R・C21N・C14からの取り替え



斜線：止水栓とタンクが接触しない範囲
点線：止水栓とタンクが接触する範囲 (点線の範囲は
壁〜タンクすき間が55mmとなります)

1 の場合



※止水栓は別途現場手配してください。
(上水の場合…TS420F3U)
(再生水の場合…D10094Z)

2 の場合



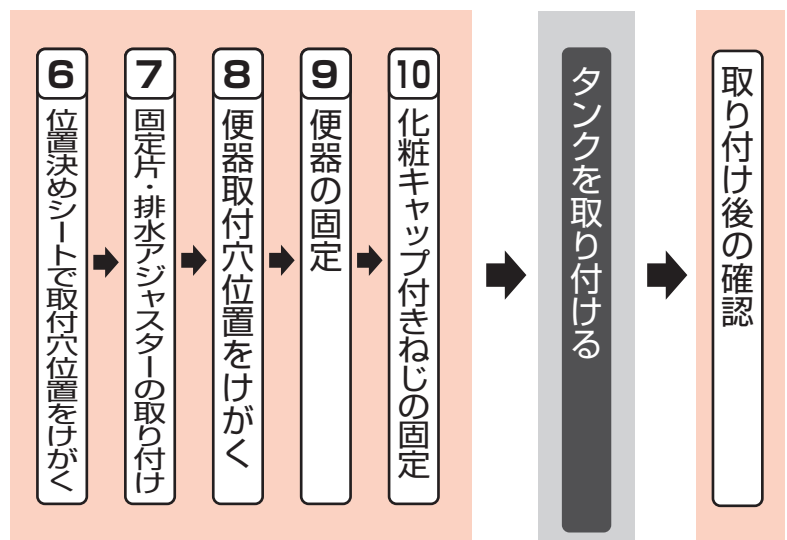
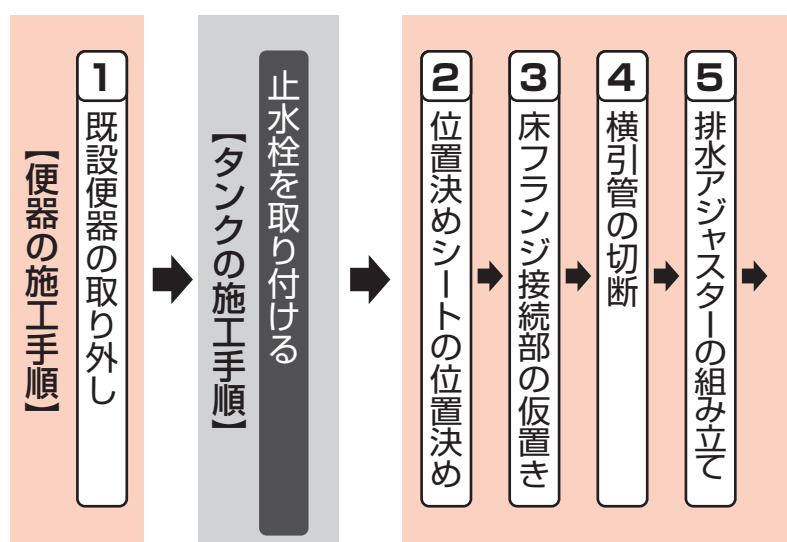
※止水栓は別途現場手配して
ください。(TS791F1U)

⚠注意

❗ 給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源
コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。

施工手順

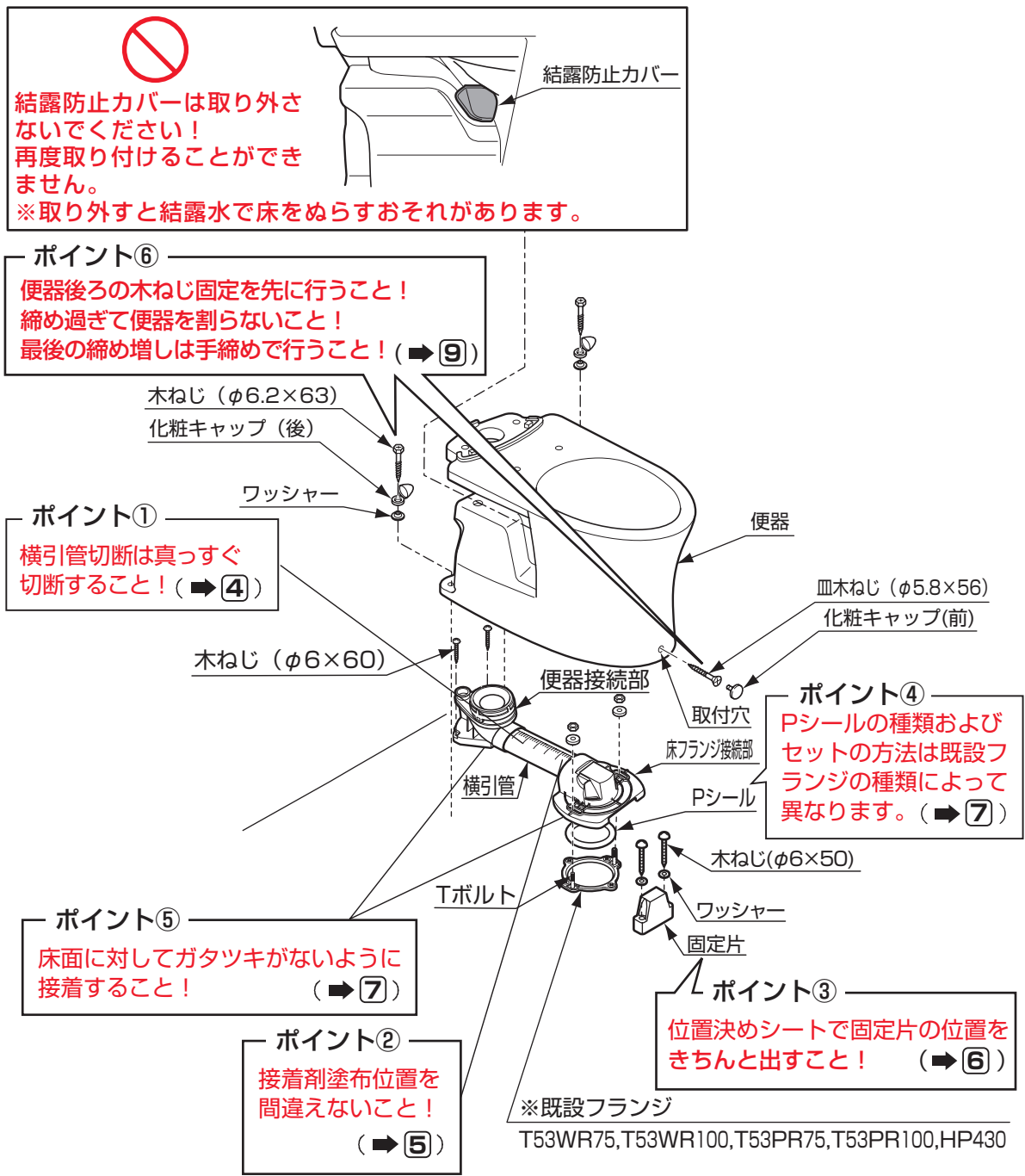
この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。
(〇 は本紙、 〇 はタンクの施工説明書を参照ください)



タンクを取り付ける

取り付け後の確認

各部のなまえと施工のポイント



取付方法

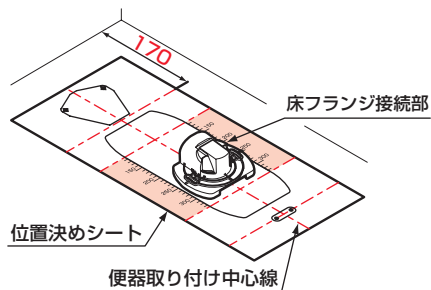
1 既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。

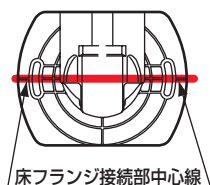
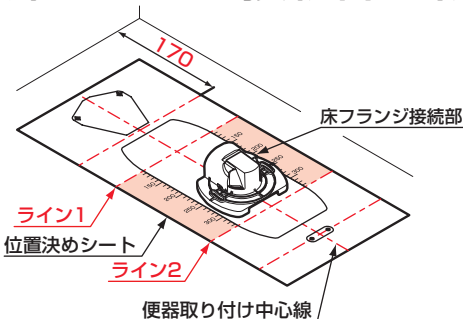
2 位置決めシートの位置決め

後壁面から170mmの位置に位置決めシートの取付基準線を合わせて置く。

※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。



3 床フランジ接続部の仮置き



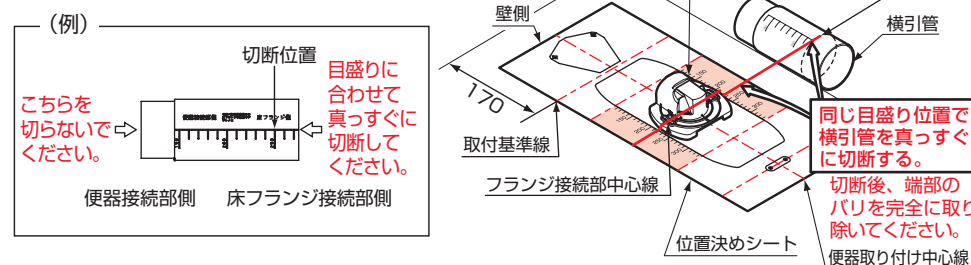
ケース①	ケース②	ケース③	ケース④
床フランジ接続部中心線がライン1とライン2の間にある	床フランジ接続部中心線とライン1が一致	床フランジ接続部中心線とライン2が一致	床フランジ接続部中心線がライン1とライン2の間でない
目盛りに合わせて横引管切断	横引管不要	横引管切断不要	横引管切断不要
4へ	5へ	5へ	5へ

位置決めシートを手前にずらして、ライン2と床フランジ接続部中心線を合わせる

ライン2と床フランジ接続部中心線を合わせる

4 横引管の切断

排水心の長さに合わせて、横引管を切断する。



5 排水アジャスターの組み立て

注意

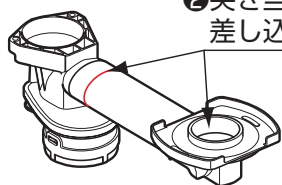
横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

●排水心268～503mmの場合

①塩ビ用接着剤を十分塗布し、各中心を合わせるように組み立てる。

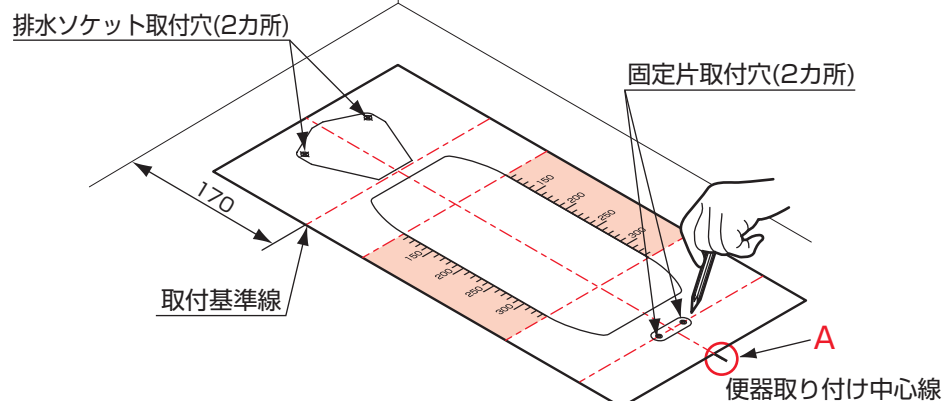


②突き当たるまで差し込む。



6 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- ②で合わせた位置に位置決めシートを置く。
- ②給水管取り出し範囲（表面参照）に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- ③排水ソケット取付穴位置および固定片取付穴位置（4カ所）をけがく。
- ④鉛筆など（あとで消せるもの）で下図A（便器取り付け中心線）に印をつける。
- ⑤けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



7 固定片・排水アジャスターの取り付け

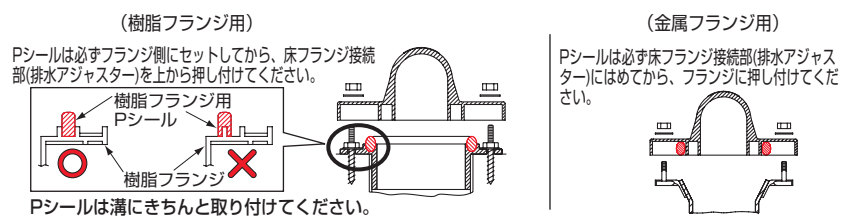
注意

Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する
Pシールを間違えて取り付けたと、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



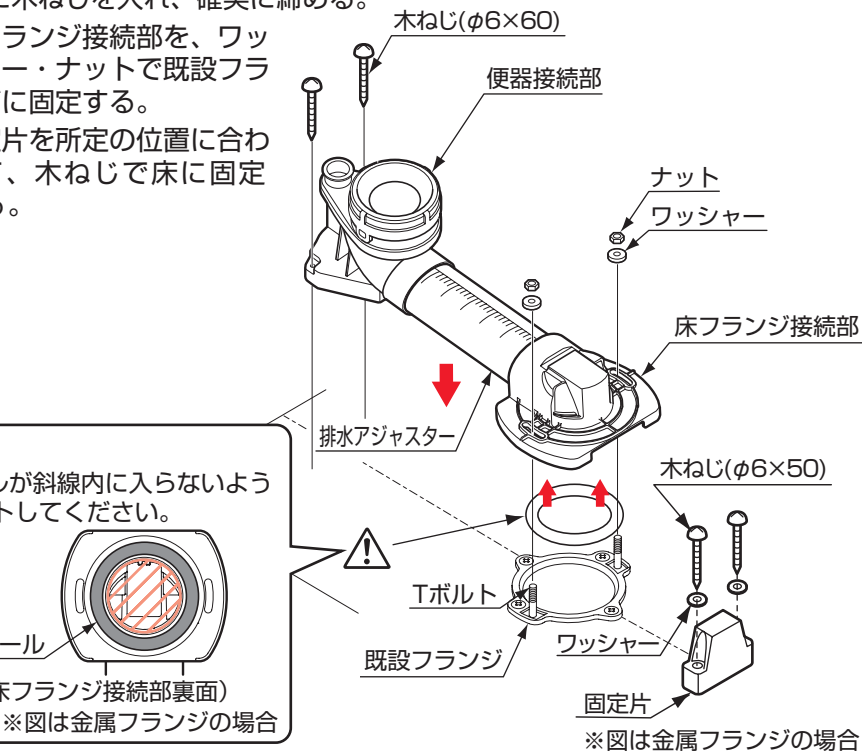
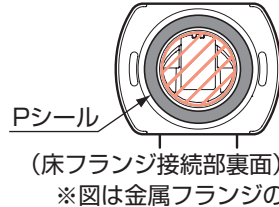
必ず実行



- ①〈樹脂フランジの場合〉Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。
- ②排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(2カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。
- ③床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- ④固定片を所定の位置に合わせて、木ねじで床に固定する。

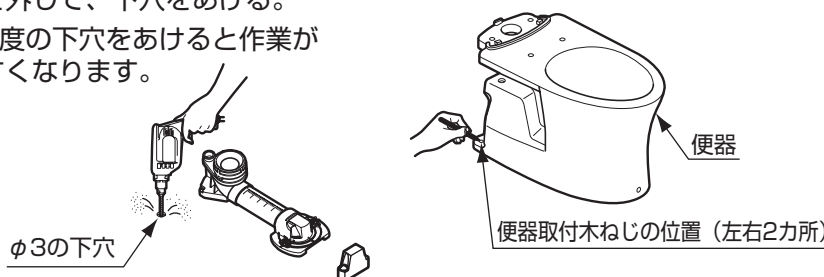
注意

Pシールが斜線内に入らないようにセットしてください。



8 便器取付穴位置をけがく

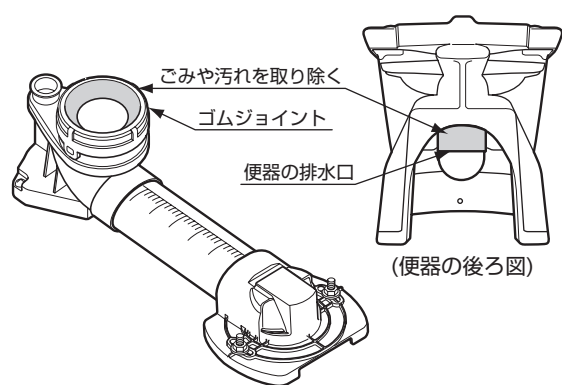
- ①便器を排水アジャスターに差し込む。
※床にけがいた印（図A）と便器前方の穴を合わせてください。
- ②便器を平置きし、便器取付木ねじの位置（左右2カ所）をけがく。
- ③便器を外して、下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



9 便器の固定

❶ 便器排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水アジャスターに差し込む。

※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。



注意

最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

⚠ 注意

便器後部の固定を必ず先に行う

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

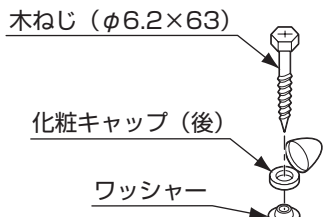
❷ 便器後側の取付穴（2カ所）を木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ（後）で固定する。

※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

❸ 便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ（前）を差し込む。

※便器前側を固定する際は、床にけがいた印（図A）と便器前方の穴を合わせてください。

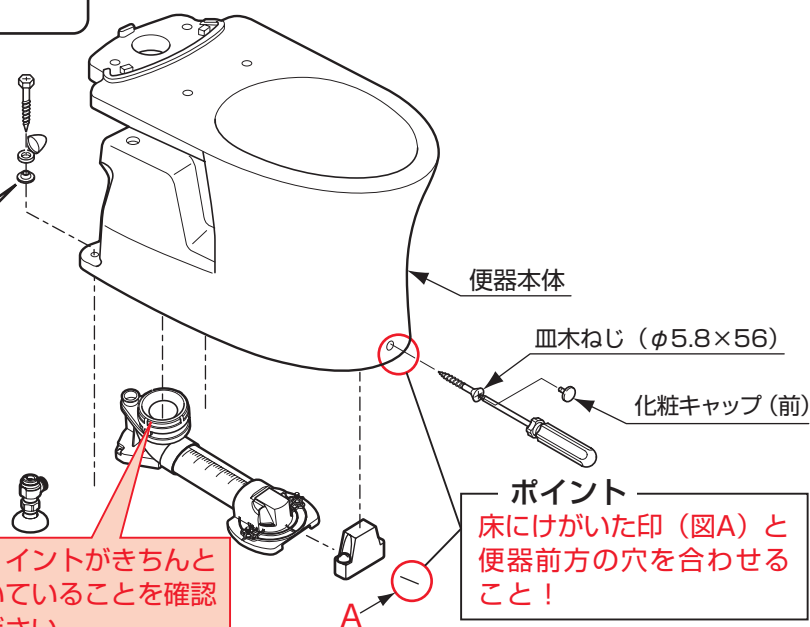
※最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。



※ワッシャーの向きを間違えないこと。

ゴムジョイントがきちんと取り付けられていることを確認してください。

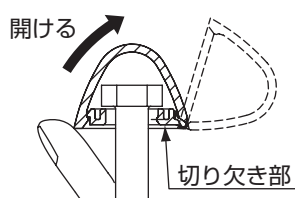
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



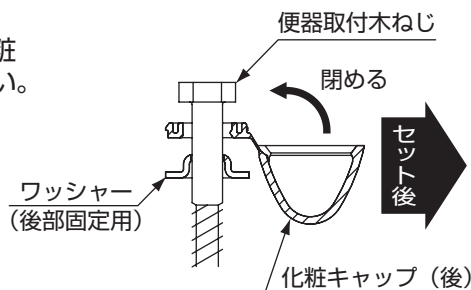
10 化粧キャップ付きねじの固定

<取り付けかた>

❶ 最初に化粧キャップを開ける。
開け方は、木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げてください。

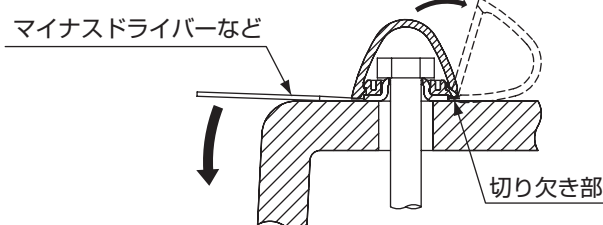


❷ 木ねじを取り付けたあとは、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



<取り外しかた>

施工後に木ねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開いてください。



タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

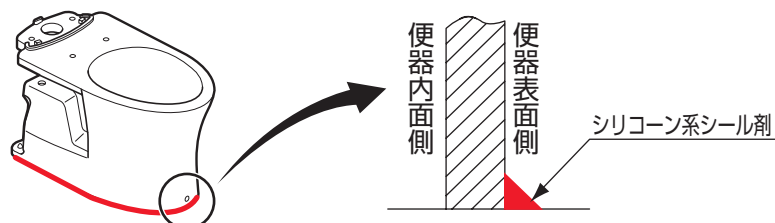
取り付け後の確認

- ・試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーラントを塗布することをおすすめします。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。